

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標6_地球環境・生活環境・上下水道】

施策 6-2_生活環境の保全と調和

基本計画		事業番号	細事業名称
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04094_01	環境調査事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04138_01	浄化槽設置整備事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04260_01	猫不妊・去勢手術補助事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	07019_01	休廃止鉱山鉱害防止対策事業補助金
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	04033_01	斎場施設整備事業
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	04175_01	市営墓地整備費

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	04094_01	
事業名(行目名称)		環境調査費	細事業名	環境調査事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	113,466人		
	手段(どうやって)	各種環境調査項目について調査・分析を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	大気・水質・悪臭・騒音等の調査を行い、現況を把握し、生活環境の保全を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,175	1,679	1,679	1,549	○需用費 15千円 ○役務費 528千円 ○委託料 1,000千円 ○負担金補助及び交付金 136千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,175	1,679	1,679	1,549		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
道路交通騒音達成率 (環境基準達成戸数/主要道近傍の住居戸数 *100)			目標値	100	100	100	100
			実績	99.1	99.2	-	99.2
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
自動車騒音調査業務委託契約の入札が不調となった。調査箇所を減らし再入札を実施予定である。大気汚染自動測定器の更新が滞っており、部品交換の頻度が上がっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
確実な事業実施のために、現状維持が必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
大気・水質・悪臭・騒音等の調査を行った結果、環境基準はおおむね達成されており、生活環境が損なわれていないことが確認できた。特に自動車による騒音については、主要道近傍の住居に対する騒音の現況を把握できた。また、事業者による騒音や悪臭の発生についても、騒音測定や悪臭分析により効果的に指導をおこなった。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	04138_01		
事業名(行目名称)		浄化槽設置整備事業	細事業名	浄化槽設置整備事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	廃棄物対策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	汲取り・単独浄化槽人口(公共下水道計画区域外)		数値	20,664人		
	手段(どうやって)	昭和63年より合併処理浄化槽設置整備事業に取り組み、令和5年度末までに2,213基の浄化槽設置者に補助を行った。さらなる補助の利用促進のため、単独浄化槽の撤去費補助について補助項目とし、令和5年度より、汲み取り便槽撤去費及び単独槽の撤去費の増額、その他、宅内配管補助のメニューを追加した。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	公共下水道事業計画区域外においては、生活排水が水路・河川等に直接流されており、全国的にも都市部においては河川汚濁の原因となっている。したがって、この地域を対象に生活排水とし尿を併せて処理できる合併処理浄化槽の設置を推進し、公共下水道事業計画区域外での水洗化率を向上させ、河川等の汚濁の原因を公共下水道との両輪で根幹から改善していくことにより、長期総合計画にあるまちづくりを目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 44,014千円	
経費		27,166	44,014	34,858	32,242		
財源	県・国支出金	12,677	20,539	16,266	15,045		
	地方債		0	0			
	その他	14,489	23,475	18,592	17,197		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
浄化槽補助基数 合併処理浄化槽設置率(下水道除く)		目標値	0.525	0.55	0.564	0.575	0.600
		実績	0.542	0.564	0.564	0.583	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
昨年度を上回る申請件数となっており、順調に執行できている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
早期に水洗化率向上の目標が達成できるように、事業を継続する必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和6年度については前年度以上に合併処理浄化槽へ転換が図られ、生活排水全体の水質向上に寄与することができた。なお、今後も引き続き、国、県の動向を注視しながら、補助メニューや補助額等においても随時検討を行い、市民からのニーズに応えられるよう、継続して事業を実施する必要がある。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	04260_01		
事業名(行目名称)		猫不妊・去勢手術補助事業費	細事業名	猫不妊・去勢手術補助事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	飼い主のいない猫の望まれない繁殖を防ぎ、良好な生活環境の保持を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,000千円	
経費		492	1,000	1,000	1,000		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	1,000	1,000	1,000		
	一般財源	492	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
不妊去勢手術実施補助頭数		目標値	90	60	120	120	120
		実績	74	77	103	164	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
申請数は順調に伸びており、年度内に終了予定。財源となるガバメントクラウドファンディングの募集を10月1日から開始したが、目標金額が達成されるか不確定である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
市民から要望の強い事業であり、事業の継続が必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
ガバメントクラウドファンディングにより募った寄附を財源とし、昨年度の倍を超える頭数の飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対して補助を行った。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	07019_01	
事業名(行目名称)		休廃止鉱山鉱害防止対策費		細事業名	休廃止鉱山鉱害防止対策事業補助金		
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策	生活環境の保全と調和		
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上		担当課	産業振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	住友金属鉱山(株)			数値	1	
	手段(どうやって)	国の「休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金(休廃止鉱山防止工事費)交付要綱」により、別子銅山のように鉱害防止義務者が存在する鉱山に対し、自然(他者)汚染分の坑廃水処理経費のうち3/4を国、残り1/4を地方公共団体(県1/8、市1/8)が補助することとなっている。新居浜市も「新居浜市休廃止鉱害防止等工事費補助金交付要綱」を設置し、昭和56年より住友金属鉱山(株)が実施する坑廃水処理事業(坑水路補修や坑水路維持垢掃除等)に要する費用の一部を国・県とともに補助している。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子鉱山から排出される坑廃水を適切に処理したのちに放流することで、鉱害を未然に防止する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 3,398千円	
経費		5,056	3,398	3,398	3,280		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		5,056	3,398	3,398	3,280		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
坑廃水を起因とする鉱害の発生数			目標値	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>別子銅山の坑廃水を未処理のまま放流した場合、広範囲にわたって土壌汚染、飲料水汚染、瀬戸内海の汚染等を招く恐れがあり、市民の安心で快適なまちづくりのため事業を継続的に実施していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>廃止後の別子鉱山に係る鉱害及び危害を防止するため、国・県とともに事業費の一部を継続して助成する。なお、事業経費が前年度より増額する見込みのため、予算の拡大を行う。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>住友金属鉱山株式会社が実施する坑廃水処理事業に係る費用の一部を国・県とともに助成し、廃止された別子鉱山に係る鉱害の防止及び安全な水環境の整備・汚染防止につながった。安心・快適なまちづくりのため、今後も事業を継続する。</p>							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	04033_01		
事業名(行目名称)		斎場施設整備事業		細事業名 斎場施設整備事業				
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策 生活環境の保全と調和				
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進		担当課 環境政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民			数値	113,466人		
	手段(どうやって)	施設の延命化と利用者の利便性向上を図り、休止のない斎場施設の安全かつ安定的な運転を行うため、施設や設備の修繕、更新等を計画的に実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	利用者の希望にそった休止炉のない運営を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		11,545	14,032	14,032	13,930	○工事請負費 14,032千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		2,300	3,500	3,500			
	その他	0		0	1,703			
	一般財源	11,545	11,732	10,532	8,727			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
開場日に対する稼働日の割合			目標値	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	100	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
施設利用者の利便性向上及び施設の延命化を図り、施設の安定的かつ安定的な操業を行うため、施設設備の修繕補修及び更新を計画的に実施している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
今後とも計画的なメンテナンスと更新を実施することにより、安全かつ安定した操業に努める。設備の稼働年数等により費用が大幅に増大することがある。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
施設、設備等の修繕や更新等を計画に執行することにより、斎場施設の安全かつ安定的な運転を行うことができた。また、施設の延命と利用者の利便性向上が図られた。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	04175_01		
事業名(行目名称)		市営墓地整備費		市営墓地整備費				
総合 計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策				
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進		担当課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市営墓地利用者及び墓地を必要とする市民			数値	113,466人		
	手 段 (どうやって)	三墓地の返還墓所のうち、ニーズのあると見込まれるものについて順次整備し、再貸出ししていく。あわせて、再貸出しにより新たに生まれる使用料収入の範囲内において、三墓地の修繕等を行っていく。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	三墓地において、返還されたまま放置されている墓所を順次整備し、再貸出ししていくことにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		4,049	7,500	7,500	4,449	○需用費 6,300千円 ○委託料 1,000千円 ○消耗品費 200千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	4,049	7,500	7,500	4,449			
一般財源		0	0	0	0			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
墓所使用料収入(千円)			目標値	7500	7500	-	7500	7500
			実績	4389	4053	-	4695	-
V 事 中 評 価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
上半期においては、三墓地内の返還空き墓所整備及び水路内土砂撤去を実施した。下半期については、通路整備等利用者の安全確保及び利便性向上を図る整備事業を実施する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
三墓地内の返還空き墓所を整備し再貸出しすることにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図るためにも、現状を維持し事業を継続する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
空き墓所を順次整備し、再貸出しを行うことで、墓所の循環利用ができています。行政財産の有効活用及び市営墓地の適正管理が図られた。								

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				